13　棚田景観の保全に向けた取組（愛媛県松野町）

高齢化による担い手不足が深刻な中、国の重要文化的景観に選定された棚田景観を保全するため、地域活性化や都市農村交流に向けた取組の検討や企画を実施。

地区の特徴

- 奥内の集落は、四万十川の支流広見川の支流の奥内川流域にあり、周囲を急峻な山林に囲まれた空間に位置。
- 水田は谷部の緩傾斜地に棚田として存在し、宅地は尾根の緩斜面に、畑は宅地周辺と山際に分布。地形をあるままに利用。
- このような土地利用と、貴重な動植物が現在まで守られてきたこと等が認められ、H29年2月に重要文化的景観に選定。また、奥内の棚田はH11年に棚田百選に認定されるとともにR4年2月につなぐ棚田遺産にも認定されている。

（出典：松野町HP）

農業農村整備事業との関係

【棚田地域等緊急保全対策事業「奥内地区」（H11～H12）、ふるさと水と土保全モデル事業「奥内地区」　（H13）】
・農業生産活動を通じ棚田の美しい原風景を保存しつつ、労働力削減を図る整備を実施。また、水車小屋の復元を実施。

取組の内容

- 重要文化的景観「奥内の棚田及び農山村景観」は、その名のとおり主体となる景観構成要素は棚田で、江戸時代から続く伝統的な土地利用の維持、継承によって良好な景観が保たれてきた。
- 今は高齢化が進み困難となった農作業を協働で行っているが、高齢化による担い手不足の問題は深刻な状況で、集落からは将来の棚田保存について不安の声が上がっている。
- 奥内棚田はH11年に棚田百選に選定されたが、集落の生活を乱されたくないという思いから、その景観の美しさを観光資源として多くの人々を呼び込むなどの取組は行ってこなかった。
- 町担当者の話では、国の重要文化的景観の選定を機に、奥内集落の全ての住民と町とで「奥内の棚田及び農山村景観」の今後のあり方について話し合いを重ねている。
- 収穫したお米は奥内の棚田米として付加価値をつけ販売。また、棚田米や文化的景観をウリとした旅行ツアーなども企画。

復元した水車（出典：松野町公式観光サイトHP）

旅行ツアーパンフレット（出典：JR四国パンフレット）

取組主体

〇奥内集落の地域住民
〇松野町